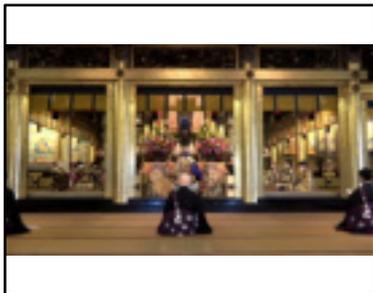


じゅしゅう

顕証寺 住職継職法要

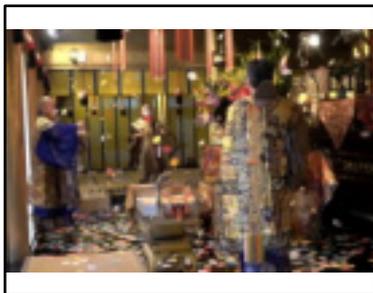
五月九日(日)、八尾の顕証寺さまで住職継職法要がおつとまりになりました。本来であれば昨年、稚児行列を含め、盛大に行われる予定でしたが、コロナ禍の影響を受け一年の延期、そして今度は緊急事態宣言が発出されてしまい、無参拝でのおつとめとなりました。当山からは団体参拝の予定をしておりましたが、やむなく中止といたしました。住職は結衆として出仕のご縁をいただきましたが、皆さまと一緒にお参りが叶わなかったことは残念です。当日は顕証寺さまが法要の様子を撮影されており、YouTubeに現在も配信



されておられます。ぜひ顕証寺HPからご覧ください。さて、そのご法要では兵庫県西宮市より赤井智顕先生がご法話くださいました。その中で阿弥陀さまのほたらきを光にたとえられ、その光には三つの特性があると教えていただきました。一つには「照育」、二つには「照破」、三つには「照護」ということです。

第26号
(通算366号)

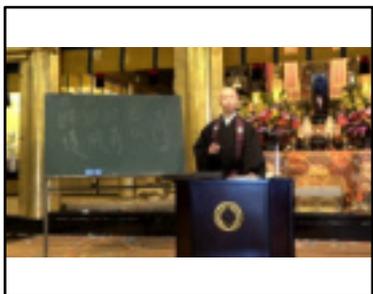
発行元
浄土真宗本願寺派
吉富山 浄覚寺
大阪市平野区
長吉長原3-1-10
06-6790-8350



「照育」とは、私を育て、変えていくほたらきであるということ。「照破」とは私の煩惱がなくならないことを知らされ、尚且つ煩惱の闇を破るほたらきがあるということ。「照護」とは災いから私を護るのではなく、どんなことがあってもあなたと共に生きていきますという阿弥陀さまの誓い。私が支えられているということですが。

今月のクイズ

・阿弥陀さまの身体 手足の全てはある色に輝いているとされています。何色でしょうか?
① 茶色
② 金色
③ 白色
・正解は次号にて。



にご自坊があります。それほど阪神ファンというわけではないそうです。けれど坊守さまの里は広島で熱烈な広島カープファン。子供を授かり、帰省をするたびにご実家での薫陶を受けていると、とうとう我が子はカープファンに育ちましたというお話。阿弥陀さまは私が気づく前から、私のことを照らし続けておられました。色んなご縁をいただいたお陰で、とうとう私もお念仏を申すようになりました。

煩惱にまをこまへられて

摂取の光明みざれども

大悲ものうきごなぐて

つねにわが身をてらすなり

《高僧和讃》

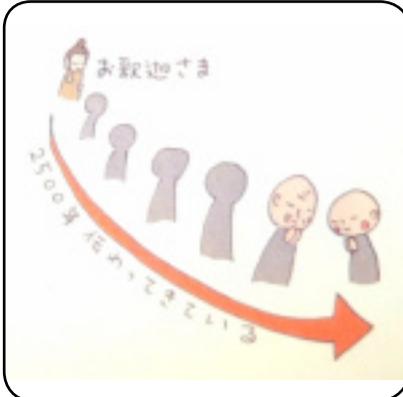


先月の答え: ③ 仏さまの顔は40本あるそうです。物事をよく噛み締めることを表しているのだとか。

御文章に聞く(第23回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨圓著 本願寺出版社

仏教語辞典



以心伝心

禅の世界で言葉や文字にできない心の真髓を師の心から弟子の心へ伝えることという。「心を以って心に伝える」と読む。仏教は苦しみを悩む人間がいて、仏教を生まれ持たものであるから、仏教を理解しようとした時に、経典を読んで理解しただけでは知識にしかならず、観念的なもの

『気になる仏教語辞典』
著・麻田弘潤 誠文堂新光社
仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

機法一体章(四帖第十一通)

南無阿弥陀仏と申すは・いかなる心にて候や、しかればなにと弥陀をたのみて・報土往生をばとぐべく候やらん、これを心得べきよりは・まず、南無阿弥陀仏の六字のすがたをよくよく心得得けて弥陀をばたのむべし、

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていきたいと思います。今月からは新しい「機法一体章」に移りたいと思います。明応六年に書き終わられてますので、一四九七年、蓮如上人八十三歳のお手紙となります。まずは大意をお伝えします。「南無阿弥陀仏とは、どのようなことをあらわされているのでしょうか。また、どのように阿弥陀仏をたのんで、

報土往生を遂げることができのでしょうか。このことを心得るには、まず南無阿弥陀仏の六字にあらわされた道理をよく心得て、阿弥陀仏をたのむべきです。」

南無阿弥陀仏のことをお名号といいます。お名号は阿弥陀仏の名前であると言われることがあります。けっして間違いはありませんが、正しいとも言いかれませんが、

私には「巖水法光」という名前があります。私には「巖水法光」という名前があります。呼びます。子供からは「お父さん」と呼ばれます。「お父さん」という言葉だけでは誰を指すものか分かりませんが、我が子の幸せを願う気持ちや、はたらきが備わっているからこそ、我が子からは「私」を示す言葉となります。南無阿弥陀仏とは、単なる名前ではなく、阿弥陀仏の本願の成就を告げる名のりなのです。

編集後記

行事案内

次回の行事は「浄覚寺ごども会・夏のついで」となります。七月十八日(日)です。「予定」ただだければと思います。
なお、延期しております「浄覚寺ヨガ教室」は緊急事態宣言解除の翌月から開催を予定しております。

今月も「じゅこう」をお届け致します。新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりました。皆さまに行き渡るようになれば、少し安心して行事のご案内ができるかと思いい期待しております。
理由は色々ありますが、昨年「第二種電気工事士」の免許を取得しました。電気屋さんになるつもりはないのですが、せっかくなので取ったのですから、本堂の悪いところを直したり、より良いお寺になるようにと、先日はご本尊の下から照明を当て、阿弥陀さまが浮き上がるように工事を行いました。
工事の間は娘が手伝って(側にいて…)くれました。間近で阿弥陀さまを見て、「蓮の上に立つてる！」と気づいてくれました。それは蓮台と言ってね、仏さまのはたらきを現しているんだよ。お父さんも蓮が大好きで、だから大切に育ててるんだよ。などなど、色々な話ができて嬉しかったです。(釋法道)

「事件は会議室で起きているんじゃない。現場おきているんだ」ということと同じようなものである。

